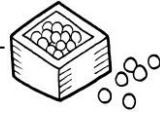


2月は、一年の中で最も寒さの厳しい月ですが、節分や立春もあり、暖かい春を迎える月でもあります。節分は一年間の無病息災を願う日です。節分には豆まきをし、豆を食べて一年間を健康に過ごして欲しいと思います。

## 2月3日は節分です

「節分」とは、季節の変わり目という意味です。もともとは「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日のことを言いました。現在では、冬から春に移り変わる時期を一年の区切りと考えるようになったことから、「立春」の前日を「節分」と言うようになりました。



### 【豆まき】

節分に豆をまく行事は、中国から伝わりました。病気や悪いことをもたらす邪気（鬼）を追い払い、一年間の無病息災を願います。大豆には、悪いものに勝つ強い力があると考えられていました。大豆は体を作るために必要である、良質なたんぱく質を豊富に含むことから「畑の肉」と呼ばれています。

### 【鰯（いわし）】

節分には、いわしの頭を柊（ひいらぎ）の小枝に刺し、戸口につるす風習があります。これは、鬼の嫌いな柊のトゲといわしにおいて鬼を追い払おうとしたもので、魔除けの意味を持ちます。



### 【関西地方に伝わる風習（恵方巻き）】

関西地方では節分の日の夜に「福を巻き込む」という意味で太巻き寿司を食べる風習があります。その太巻き寿司は「恵方巻き」と呼ばれています。

その年の恵方（歳徳神のいる縁起のよい方角で、今年南南東）を向いて、願い事を思い浮かべながら一気に丸かじりをします。



3日（金）の給食では、節分の献立として「いわしの蒲焼き」と「福豆」を予定しています。

